



比内公民館だより

2025 No.98

ひない 11月

発行/大館市立比内公民館 大館市比内町扇田字庚申岱8 Tel 43-7141 fax 55-3652

比内芸術文化祭

11月2日(日) 3日(月) 9:00~16:30

2日のステージ

1	開会式	主催者あいさつ	10:00 ~ 10:05
2	吹奏楽演奏	比内中学校吹奏楽部 & 釧路内ハーモニックバンド部	10:05 ~ 10:35
3	よさこい演舞	縁天嘉(えんてんか)	10:35 ~ 11:05
4	ポピュラー音楽	アップルズ	11:05 ~ 11:25
5	新舞踊	彩りの会	11:25 ~ 11:55
昼 休 み			
6	バンド演奏	大館ハチ公バンド	13:00 ~ 14:00
7	笛・太鼓演奏	ハッタギ踊り伝承会	14:20 ~ 14:50
8	歌・アコーディオン	佐々木和則	14:55 ~ 15:20

3日のステージ

1	ダンス	NPO法人 ハートランドひまわり	10:00 ~ 10:15
2	二胡演奏	大館二胡の会	10:15 ~ 10:35
3	よさこい演舞	比内支援学校	10:35 ~ 11:00
4	オカリナ演奏	オカリナ トライアングル	11:00 ~ 11:25
5	ウクレレ演奏	ウクレレ・アンサンブル Nice	11:25 ~ 11:50
6	ヒップホップダンス	フライヤーズ	11:50 ~ 12:00
7	ハーモニカ演奏	比内ハーモニーフレンズ	12:00 ~ 12:30
昼 休 み			

作品展示 (2F)

児童生徒	第9研修室
手 芸	第5.6研修室
習 字	第8研修室
短 歌	第7研修室
絵 画	//
写 真	//
生け花	音楽研修室

出店ほか

食 堂	1Fホール
お茶席	食堂向い(2日のみ)
キッチンカー	玄関外
籠工芸体験	2F東側
血管年齢測定	2Fホール(2日のみ)

みんなのアート展

(講堂後方)

文化講演会 3日(月) 13:30~14:30

みのむし

蓑虫山人と比内町

蓑虫放浪 著者

縄文 ZINE 編集長 望月 昭秀 氏



郷土民俗資料館に残る蓑虫山人の写真パネル

私の蓑虫山人の出会いは、今から40年ほど前であったと思います。当時の上司、出島雄蔵氏やサンフォトの山田福男氏（いずれも故人）をはじめ、多くの方々が歴史や芸術文化の活動に取り組んでいました。民俗資料の散逸を心配し、公民館に隣接する旧扇田中学校の教室の一部を改装し、手作りで整備したのが最初の郷土民俗資料館でした。

蓑虫山人全国周遊絵日記「秋田編」が発刊された後だと思いますが、蓑虫山人の絵を写真にして展示しようということになりました。写真の専門家である山田福男さんに依頼して、フィルム状のパネルを十数枚作成し、今の講堂から民俗資料館に至る通路わきに展示した記憶があります。これらの絵は、すべて蓑虫山人が比内地方（扇田）に逗留したころのもので、どの絵もほのぼのとした温かみと、人々の活力や愛情を感じ取れるものでした。

絵の中の蓑虫山人は、まさに仙人のように、扇田の人々が、蓑虫山人を温かく迎え、歓待したので貴重な絵が残されたのでしょうか。この写真パネルは、現在の民俗資料館に展示されています。



ボッチャ交流大会

10月4日(土) 比内体育館

第4回ボッチャ交流大会は、10月4日（土）比内体育館を会場に開催し、市内全域から22チーム、76名の選手が集まり交流しました。

ボッチャは、障害のあるなしにかかわらず、誰でもが楽しめるスポーツとして、大館市が普及を進めております。この日は、あえて順位を競わない交流をメインに初心者から上級者まで入り乱れて対戦。熟練者の妙技が炸裂すると、会場のあちこちから歓声が上がり、あらためてボッチャがつなげてくれる人の輪を感じることができました。



編集後記

急速に寒くなり、衣替えが追いつきません。半そでを片付け秋物の長袖にしたもの、すでに冬物が必要な状況になりそうです。「多少寒くとも雪が多くないといいけど」という友人の声に、除雪作業を思い出して深く同意しています。

市のLINEには、毎日大量のクマ出没情報があり、自分の身の回りにも、いつ出没するか、戦々恐々。一昨年は、我が家の柿に親子3頭のクマが通ってきてたので、とうとう切り倒しました。健康のためのウォーキングも、家族に止められ、蓄えた脂肪も心配です。

それでも雪が降ったらクマの心配は無くなるのでしょうか？その季節も心配が尽きないみたい。（若）